

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月19日(日) 15時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月15日(水)～19日(日)

- 19日(日) 15時現在、州内の感染者数は前日比373人増の1万4267人で、うちサンパウロ市が9668人、グアルーリョス市が308人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が297人、サントス市が293人と続く。死者数は同24人増の1015人で、うちサンパウロ市が700人、グアルーリョス市が29人、オザスコ市が27人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が20人と続く。州内初の死者が確認されてから32日で1千の大台に達した。感染が確認されたのは州内228市、死者は93市となり、入院患者数も集中治療室に2275人、一般病棟に3465人と大幅に増加している。
- 17日(金)、サンパウロ州政府は、外出自粛措置(クアレンテーナ)を5月10日(日)まで延長する旨発表。現時点で措置の内容に変更はなし。コーバス・サンパウロ市長も州の方針を支持する旨発表。
- 17日(金)、サンパウロ州政府は、16日(木)のサンパウロ州の社会的隔離の実施率は49%と微減(前日は50%)したと発表。州内の実施率トップは16日に引き続きサン・セバスチアン市(67%)。
- 17日(金)、サンパウロ州政府は、州消費者保護団体(Procon-SP)が3月16日(月)～4月16日(木)に州内127市の薬局やスーパー等、計1770の店舗を対象にアルコールジェルやマスク等のコロナウイルス対策関連商品の販売価格が不当に高く設定されていないか調査したところ、84%がこれに該当したと発表。
- 17日(金)、サンパウロ州保健局は、サンパウロ市南部の病院でのコロナウイルス感染患者の受入を緩和する目的で、同地域パラゾーポリス地区の州立学校2校を患者の隔離センターとして活用すると発表。また、ゲルマン州保健局長は、コロナウイルスの検査待ち数についてこれまで約1万7千件だったが、現在は9400件に減っていると説明。
- 19日(日) 15時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は、前日比26人増の計210人。うち、パカエンブー競技場内の病院では81人、アニエンビー国際展示場内の病院では129人が入院と増加傾向。
- 17日(金)、サンパウロ市保健局は、市内公立病院でコロナウイルスの感染疑い者に対する診断の一助として、胸部CTスキャンによる検査を優先的に実施する等の措置を講じていると発表。
- 15日(水)、サンパウロ州都市交通局は、紫外線照射により車両を消毒する技術の試験を地下鉄車両内で開始。効果が確認されれば、サンパウロ州内の電車、バス、地下鉄に導入される可能性がある。

2 マット・グロッソ州

4月17日(金)～19日(日)

- 19日(日) 正午現在、州内の感染者数は前日比3人増の174人、うち州都クイアバ市が92人、ロンドノーポリス市が24人、シノピ市が13人と続く。入院患者数は11人、うち8人が集中治療室。死者数は15日(水)に確認された5人目から変わらず。
- 17日(金)、同州政府は中国から購入した人工呼吸器120台の輸送支援を連邦政府に要請したと発表。
- 17日(金)、同州政府は5月1日(金)より州民の外出時のマスク着用が義務となる予定を受け、自家製マスクの作成や衛生管理方法を紹介した感染症専門家の動画を[政府の公式ユーチューブ番組に投稿](#)と発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月17日(金)～19日(日)

- 17日(金)、同州政府は16日(木)の州内の社会的隔離の実施率は44.6%と全州でワースト2位となり、60%を達成したのも州内79市のうち3市のみであったとして、改めて同措置の徹底を呼び掛け。
- 19日(日) 午前11時現在、州内の感染者数は前日比7人増の168人、うち州都カンポ・グランデ市が87人。入院患者数は23人。死者数は15日(水)に確認された5人目から変わらず。(了)